

【情報公開文書(オプトアウト文書)】

金沢大学附属病院 産婦人科にて子宮頸癌と診断・治療を受けた患者さんへ

研究協力のお願について

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の相談窓口へお問い合わせ下さい。ご連絡がない場合においては、ご了承をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、この研究は、倫理審査委員会の審査を受け、研究責任者の所属機関の長の承認を得て行っているものです。

1. 研究の対象

2014 年 4 月～2023 年 3 月の間に子宮頸癌と診断され治療を受けられた方

2. 研究の概要

研究課題名	当院における子宮頸癌ⅡB期治療患者の転機についての後方視的研究
研究期間	承認日 2023 年 5 月 17 日 ～ 2025 年 3 月 31 日
目標数	全体 50 例

子宮頸癌は、女性の生殖器系の一部である子宮頸部の細胞ががん化する疾患です。子宮頸癌は、性交渉によるヒトパピローマウイルス（HPV）感染が原因で起こることが多いとされています。子宮頸癌の治療法には、手術、放射線療法、化学療法などがあります。手術には、広汎子宮全摘術などがあります。放射線療法は、がん細胞を破壊するために放射線を使用します。化学療法は、がん細胞を攻撃するために薬剤を使用します。この研究では子宮頸癌に対する治療成績について検討を行います。

3. 研究の目的・方法について

この研究では子宮頸癌のⅡB期と診断された方を対象として、手術療法や放射線化学療法の治療成績を調べることを目的としています。ⅡB期とは、子宮頸癌が子宮頸部の周囲の組織に広がっている状態のことを言います。当院で対象となる子宮頸癌の治療された患者さんの電子カルテ上のデータを使い、必要なデータをとりまとめて治療の成績（5年間のうちに再発しなかった確率、生存した確率など）を計算します。また再発した場合には、どのような要素が影響をしていたのかについても調べます。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

電子カルテより以下の、診療の際に得た情報を取得いたします。

年齢、MRI・CT画像、病理診断、血液検査データ、病歴、化学療法の治療歴、副作用等の発生状況などの情報を含む診療録

5. 外部への試料・情報の提供・公表

提供された試料・情報は、外部へ提供することはありません。

6. プライバシーの保護について

この研究にご参加いただいた場合、提供された診療情報などのこの研究に関するデータは、個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されますので、あなたの個人情報が外部に漏れることは一切ありません。

この研究で得られた結果は学会や医学雑誌等に発表されることがあります。このような場合、あなたの個人情報などのプライバシーに関するものが公表されることは一切ありません。

7. 研究組織

研究責任者

藤原 浩 (医学系 産科婦人科学、教授)

研究分担者

松本 多圭夫 (附属病院 産科婦人科、助教)

山本 恵 (附属病院 周産母子センター、特任助教)

飯塚 崇 (医学系 産科婦人科学、助教)

8. 本研究に係る資金ならびに利益相反について

この研究は大学の運営費を用いて行われます。また、この研究の研究担当者は、この研究において企業等との間に利害関係はありません。この研究の研究担当者は、金沢大学の規定に基づく利益相反審査機関へ自己申告し、その審査と承認を得ています。従って、この研究の研究担当者は、この研究の実施の際に個人的な利益のために専門的な判断を曲げるようなことは一切いたしません。

9. 研究への不参加の自由について

情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、2025年3月31日までに下記の問い合わせ先までお申出ください。なお、研究結果が既に医学雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

10. 研究に関する窓口

この研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。

担当 金沢大学医薬保健研究域 医学系 産科婦人科学教室 助教 飯塚 崇

住所 〒920-8640 金沢市宝町 13 番 1 号

電話 076-265-2425